## 空想旅行案的人



協賛一T&D保険グループ 主催一東京ステーションギャラリー 電話番号 | 03 - 3212 - 2485 巡回予定|2025年 1-3月 名古屋、2025年4-6月 大阪 会場一東京ステーションギャラリー [公益財団法人東日本鉄道文化財団]、東京新聞 [東京駅 丸の内北口 改札前] ウェブサイト | https://www.ejrcf.or.jp/gallery/

広報お問い合わせ先 東京ステーションギャラリー 学芸室 ahatori@ejrcf.or.jp Tel.03-3212-2763

© Fondation Folon, ADAGP/Paris, 2023

東京ステーションギャラリー TOKYO STATION GALLERY

2024.7.13g

 $\rightarrow$  9.23

## 私 はりつも空を自由に飛んで、 風 や空と話してみたりと思って りるのです。

II

表紙や: せました。 がけるなど、 を広げ、 舞台美術、 した。その後、 積んだフォロンは、 ジャン る広告やポスター、 (Jean-Michel Folon 1934-2005) は、 リに移ってデッサンの ーティストです。 で少年期を送り、 ギ 小説の挿絵で評価を得ま 80年代以降は彫 が ミッシェル・フォロン 壁画 水彩や版 ル などに活動 チな活躍 コラージュ、 ま ブリュッセ 20 ず 歳 Ī が画によ 雑誌の %過ぎに クな

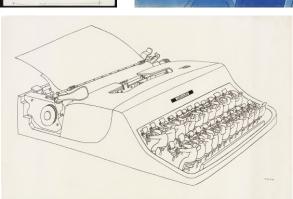
なメッ 起こっているさまざまなことが がっており、 らもどこか私たちの日常とつな らかな色彩とかろやかなタッチ てくれます。 みる人を空想の旅へと連れ出し で表現されたフォロンの作品は、 イメージは、 詩的でユーモアに富み、 の気づきをもたらす、 セージ性をもそなえて 幻想的 ときにこの世界で そこに展開される でありなが 豊か やわ

紹介するものです。 そのあたたかく深遠な魅力をご 絵画 団 の 彫刻を含む多彩な作品によって、 が生前に設立したフォロン財フォロンの没後20年、そして 25周年を記 ゃ ポスター、 念する本展は、 挿 絵、 そして









①《無題》カラーインク

②『世界人権宣言』表紙 (原画)、水彩、1988年

LETTERA 32 OLIVETTI

- ③《無題》インク
- ④《無題》カラーインク・コラージュ
- ⑤《グリーンピース 深い 深い トラブル》ポスター、1988年
- ⑥《letter 32 全ての人にオリベッティを》ポスター、1967年
- ①《秘密》ブロンズ、1999 年 ©photograph by Fernandez
- \*すべてフォロン財団蔵 ©Fondation Folon, ADAGP/Paris, 2023



PER

**フォロン財団**は、2000年にフォ 訪れた人々に言葉を超えた 彼の作品の保管と一般

GREENPEACE

DEEP DEEP TROUBLE

彼のメッセージを伝えています。 術館が建ち、 園には、フォロンが自らデザインした美 た。227ヘクタールもの自然豊かな公 フォロンにとって思い出深い場所でし されました。そこは戦時中に幼いフォロ なっているワロン地域圏の森の中に設立 ルから車で20分ほどの、現在は公園 開を目的に、ベルギーの首都ブリュッセ 自身によって、 ンが一家で疎開した村の近くという、 フォロン(フランス、ビュルシーにて) 1980 年頃、フォロン財団 © Fondation Folon, ADAGP/Paris, 2023

み みをすませば世界が動りているのが聞えてこえてきます。」